

INTERACTION EFFECTS OF IN-HOSPITAL
REHABILITATION AND THE USE OF COMMUNITY-BASED
SERVICES AFTER HOSPITAL DISCHARGE ON PATIENTS'
SUBSEQUENT FUNCTIONAL ABILITIES

澁田, 英敏

<https://hdl.handle.net/2324/2236338>

出版情報 : Kyushu University, 2018, 博士 (医学), 論文博士
バージョン :
権利関係 :



氏 名： 澁 田 英 敏

論 文 名： INTERACTION EFFECTS OF IN-HOSPITAL REHABILITATION AND THE USE
OF COMMUNITY-BASED SERVICES AFTER HOSPITAL DISCHARGE ON
PATIENTS' SUBSEQUENT FUNCTIONAL ABILITIES

(入院中のリハビリと退院後の社会資源利用がその後の生活機能に及ぼす交互作用効果)

区 分： 乙

論 文 内 容 の 要 旨

背景

退院後の患者の生活機能は、入院中のリハビリと退院後の社会資源利用の影響を受けている。我々は、入院中のリハビリと退院後のリハビリおよび非リハビリサービスの利用の交絡の患者の生活機能に及ぼす影響について調査した。

方法

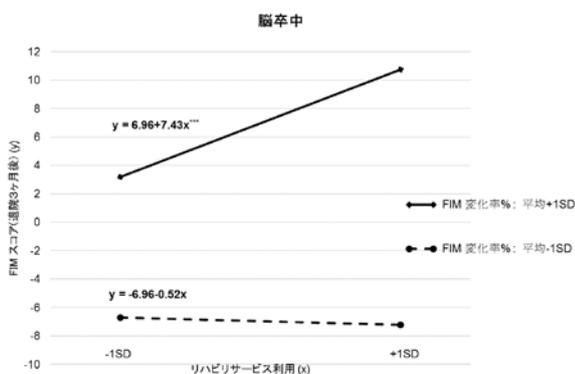
本研究は、日本において、2008年から2011年の間にリハビリを受けた入院患者509人を対象とした。患者は病状に基づき、2つのグループに分類した(脳卒中とその他)。退院後、機能的自立度評価表(FIM)の変化と、社会資源のリハビリサービスおよび非リハビリサービス利用との間の交互作用効果が、患者の生活機能に与える影響を、退院3カ月後のFIMスコアを目的変数とした階層的線形回帰分析によって評価した。

結果

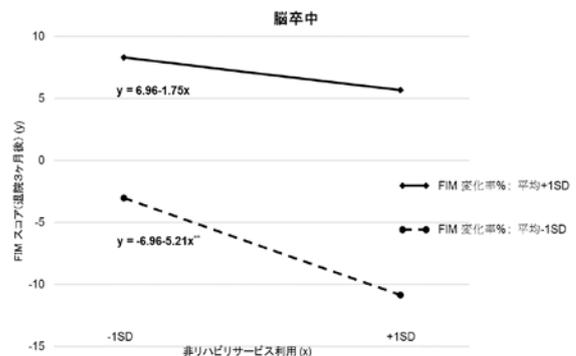
脳卒中とその他の患者において、FIMの変化と退院後のリハビリ・非リハビリサービス利用との間に有意な交互作用が認められた。

結論

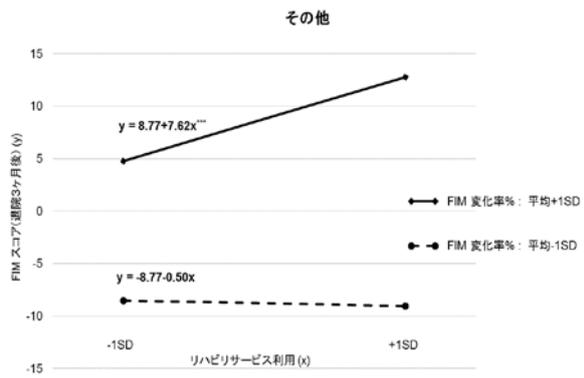
入院中のリハビリと退院後のリハビリ・非リハビリサービスの利用は相互に交絡し、自宅退院患者のその後の生活機能に影響を及ぼしていた。本研究の結果は、退院後、患者の生活機能を維持するうえで有益であると考えられる。



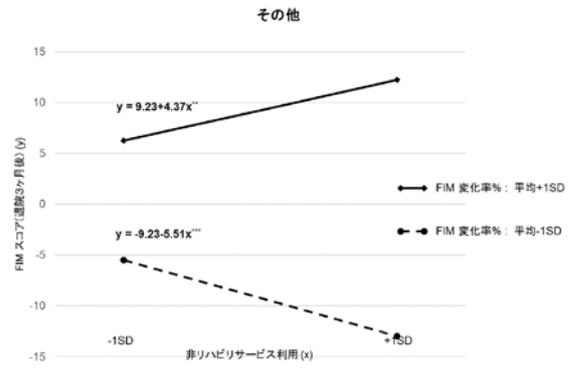
脳卒中患者における FIM 変化率%とリハサービス利用の交互作用が退院3か月後の FIM に及ぼす効果



脳卒中患者における FIM 変化率%と非リハサービス利用の交互作用が退院3か月後の FIM に及ぼす効果



その他患者における FIM 変化率%とリハビリサービス利用の交互作用が退院 3 か月後の FIM に及ぼす効果



その他患者における FIM 変化率%と非リハビリサービス利用の交互作用が退院 3 か月後の FIM に及ぼす効果